

- ◎ 社会の潮流が大きく変わりつつあり、先行きの不透明感が強まる中にあるのは、まずは目指すべき将来像をしっかりと描き、施策の展開方向を定めていく必要がある。
- 【論点1】 … 全国及び本県の社会経済の見通しを踏まえ、今後10～15年間でどのような変化が想定されるか。
  - 【論点2】 … 変化の見通しを踏まえ、中長期的な観点での重点課題は何か。また、その課題に対応していくために、どのような視点が必要か。
  - 【論点3】 … どのような将来像を描き、施策展開に向けて調査研究を深めていくか。

論点1	論点2	論点3	
<p><b>全国的な社会経済の見通し</b></p> <p><b>東京一極集中の流れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯止めのかからない首都圏へのヒト・モノ・カネの集中</li> <li>・生産年齢人口の減少に伴う幅広い業種での労働力不足の深刻化</li> <li>・児童生徒の減少による小規模校の増加</li> <li>・地域公共交通機関の衰退</li> <li>・中山間地等を中心とした地域コミュニティの弱体化</li> <li>・空き家率の上昇と荒廃する空き家の増加</li> </ul> <p><b>価値観の変化と多様化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の社会進出の一層の進展</li> <li>・ワークライフバランスを重視する考え方の浸透、働き方改革の進展</li> <li>・田園回帰の機運の高まり(2009年から5年間で首都圏から地方への移住者が4倍以上に増加。中でも20～30代の若年層の増加が顕著)</li> </ul> <p><b>ICT、IoTの劇的な進歩</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転技術の実用化への期待</li> <li>・単純労働の機械への代替の進展</li> <li>・IoT市場の拡大と各種サービスの電子化</li> <li>・製造業や農業、医療、教育など幅広い分野へのICTの導入と生産性向上への動き</li> </ul> <p><b>グローバル化の進展</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EPA、FTA等の新たな経済連携の拡大による国際取引環境の変化</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックを契機とするインバウンドのさらなる増大への期待</li> </ul> <p><b>防災意識の高まり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災を契機とした防災意識の高まり</li> </ul>	<p><b>本県の見通し(将来の懸念●、可能性○)</b></p> <p><b>子育て・人づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015→2016年社会増減率▲0.31%(全国41位)</li> <li>・2010→2040年の推計人口減少率▲28.5%(全国42位)</li> <li>●若年人口の減少とともに社会経済の活力が低下する懸念</li> <li>○人口減少が進む中、個々の暮らしの質や価値観が重要視される</li> </ul> <p><b>安全安心社会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国有数の高い高齢化率(2015年:30.8%、全国7位)</li> <li>・高いボランティア年間行動者率(2011年:35.3%、全国1位)</li> <li>●高齢者の増加により介護負担が増大する懸念</li> <li>○県民性として社会参加への高いポテンシャルを持つ</li> </ul> <p><b>産業・雇用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015→2030年の生産年齢人口の推計減少率約▲21%</li> <li>・慶應先端研や県内大学等を核としたベンチャーの創出</li> <li>●人手不足の深刻化により産業活力が低迷する懸念</li> <li>○バイオや先端技術関連産業の集積と雇用拡大への期待</li> </ul> <p><b>農林水産業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1970→2016年で農業就業人口割合は20%→4.8%に減</li> <li>・高品質な農産品へのニーズの高まり</li> <li>●担い手不足により生産力が低下する懸念</li> <li>○ブランド化による農林産業の付加価値向上への期待</li> </ul> <p><b>観光交流</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2010→2015年の外国人旅行者受入数増加率109%(全国233%)</li> <li>・観光入込客数の増加に比して観光消費額は伸びていない</li> <li>○県内外の空港と連携したインバウンド拡大への期待</li> <li>○個人旅行の高付加価値化による観光消費額向上への期待</li> </ul> <p><b>環境・エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県土面積の7割を占める森林資源の存在</li> <li>・新電力会社の事業開始(H28)やエネルギー開発の進展</li> <li>○太陽光や風力、木質バイオマス等の豊富な資源を利用した再生可能エネルギーの活用拡大</li> </ul> <p><b>県土基盤</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高速交通網の縦・横軸の強化、酒田港の機能向上</li> <li>・地域コミュニティの弱体化、地域公共交通の規模縮小</li> <li>○移動時間の短縮と物流コストの削減への期待</li> <li>●中山間地域等を中心に生活の利便性が低下する懸念</li> </ul>	<p><b>重点課題と施策展開の方向性</b></p> <p><b>1 暮らし分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様なライフスタイルを可能にし、「活動人口※」を増やすなど、山形の暮らしの魅力度を上げる</li> <li>「山形ならではのライフスタイル」の形成</li> </ul> <p>(施策展開の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史や風土への理解を醸成する</li> <li>・若者の価値観や希望に合った多様な働き方、暮らしを可能にする社会システムを構築する</li> <li>・誰もが生涯複数の役割を持つ社会システムを構築する</li> <li>・女性・若者・シニアが起業・創業しやすい条件を整える</li> </ul> <p>※活動人口:仕事やボランティア等の社会活動に関わる人の数を指す造語</p> <p><b>2 産業・経済分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産性の向上によって労働力の減少をカバーするとともに、付加価値創出型の産業を形成する</li> <li>産業分野を通じての先端技術の導入と、企業間連携や産学官金の連携によるイノベーションの創出</li> </ul> <p>(施策展開の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT、AI等の先端技術の導入等により、サービス産業をはじめとする産業全体の生産性を向上させる</li> <li>・付加価値を生み出す産業人材を育成する</li> <li>・本県産業をけん引する中核企業を育成する</li> <li>・産業の新陳代謝を促す</li> <li>・ものづくり産業や農業の海外展開力を強化する</li> <li>・マーケットインの視点を重視し、農林水産業の競争力を強化する</li> </ul> <p><b>3 地域社会分野</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流拡大のための社会基盤を確立するとともに、地域コミュニティの機能強化を推進する</li> <li>多様で重層的な交流の拡大</li> </ul> <p>(施策展開の視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民主体による地域コミュニティづくりを展開する</li> <li>・買い物・通院等の住民に身近な生活機能を確保する</li> <li>・地域資源の価値を高め、地域の魅力を向上させる</li> <li>・生活圏域の中心部と周辺部の流動性を高める</li> <li>・ITインフラの整備充実を図る</li> <li>・再生可能エネルギーのエリア供給システムを構築する</li> <li>・広域交通ネットワーク(道路・鉄道等)の整備を進める</li> </ul>	<p><b>調査研究の切り口(案)</b></p> <p><b>1 山形ならではのライフスタイル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ライフステージに応じた魅力度の高いライフスタイルをどのように描くか。また、それを地域にどのように展開していくか</li> </ul> <p>(調査研究内容の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の歴史や風土に根ざしたライフスタイル</li> <li>・子どもの可能性を引き出す教育</li> <li>・若者の価値観を大切にしたいライフスタイル</li> <li>・寿命100年時代に向けた県民の能力発揮</li> </ul> <p><b>2 付加価値を生み出す産業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どのようにして地域の潜在能力を結集・発揮するとともに、イノベーションを創出し、産業の付加価値を高めていくか</li> </ul> <p>(調査研究内容の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IoT、AI等を活用した生産性の向上</li> <li>・観光をはじめとするサービス産業の高付加価値化</li> <li>・産業界のニーズに応じた産学官金の連携による人材育成</li> <li>・産業人材育成に向けた学びの受け皿づくり(農業分野などでの専門職大学の設置等)</li> <li>・地域資源の活用によるベンチャー創出の活性化に向けた環境づくり</li> <li>・市場ニーズに応じた付加価値の高い農業生産</li> <li>・産業間の連携による農と食の高付加価値化</li> </ul> <p><b>3 多様な交流が根付く地域社会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒト・モノ・情報・サービスの流動拡大により多様な交流をどのように促進していくか</li> </ul> <p>(調査研究内容の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティの中核を担う人づくりと大学、企業等との連携</li> <li>・地域資源や環境資産を活用した新ビジネスの創出</li> <li>・圏域間の連携強化に向けた方策</li> <li>・IoT等先端技術の物流サービスへの活用</li> <li>・広域交通ネットワークの整備による交流拡大</li> </ul>